

地域計画

策定年月日	令和6年7月12日
更新年月日	()
目標年度	令和16年度
市町村名 (市町村コード)	南あわじ市 28224
地域名 (地域内農業集落名)	八木馬回 (馬回)

注:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域計画の区域の状況

区域内の農用地等面積(農業上の利用が行われる農用地等の区域)	27.4 ha
① 農業振興地域のうち農用地区域内の農地面積	27.4 ha
② 田の面積	26.7 ha
③ 畑の面積(果樹、茶等を含む)	0.7 ha
④ 区域内において、規模縮小などの意向のある農地面積の合計	12.2 ha
⑤ 区域内において、今後農業を担う者が引き受ける意向のある農地面積の合計	0 ha
(参考)区域内における70才以上の農業者の農地面積の合計	9.3 ha
うち後継者不在の農業者の農地面積の合計	3.68 ha
(備考)	

- 注1:①については、農業振興地域担当部局と調整の上、記載してください。
 2:②及び③については、農業委員会の農地台帳の面積(現況地目)に基づき記載してください。
 3:④については、規模縮小又は離農の意向のある農地面積を記載してください。
 4:⑤については、区域内に特定することができない場合には、引き受ける意向のあるすべての農地面積を記載の上、備考欄にその旨記載してください。
 5:(参考)の区域内における70才以上の農業者の農地面積等については、できる限り記載するように努めてください。
 6:「区域内の農用地等面積」に遊休農地が含まれている場合には、備考欄にその面積を記載してください。

(2) 地域農業の現状及び課題

当地域においては、水稻と玉ねぎ、白菜、キャベツ、ブロッコリー、レタス類、スイートコーン等の露地野菜を中心に施設園芸や畜産にも取り組んでいる。一部で若手への経営継承や新規就農者もできている。地域内農地は平成7年度に圃場整備が完了しており優良農地については、地区外所有者農地以外はほぼ管理されている。
 一方、大規模経営体は不在で兼業農家の占める割合が高く規模拡大の農家は少ない。このため、10年先を見据えたとき、リタイアする農家が増加する懸念がある。後継者への経営継承を進めていくとともに、農作業受委託や相互応援体制を進め、吉備国際大学卒業生の新規就農者に引き続き後輩学生のアルバイト継続に努めてもらう。
 さらに中山間地域に位置しているため、獣害防止柵の維持管理や農地周辺部における緩衝地帯のバッファゾーン事業継続を行うなど課題も多い。

(3) 地域における農業の将来の在り方(作物の生産や栽培方法については、必須記載事項)

当地域においては、水稻と玉ねぎ、白菜、キャベツ、ブロッコリー、レタス類、スイートコーン等の露地野菜を中心に施設園芸や畜産なども行っている。地域の所得向上に向けて、肥料価格が高騰している中、畜産堆肥の有効活用、機械の共同化及び畝立同時施肥機などを導入して低コスト化の取組みを地域全体で進めていく。水稻については以前から共同化を進めてコスト低減を図っていくことを検討しているが、畜産農家が生産するWCS用稲との兼ね合いもあり、継続協議となっている。
 農業従事者については、高齢化が進み、地域内の農地を地区外の農業者に貸したこともあったが、規模拡大ができないため返却された事例もあることから極力、地域内の農業者を担い手として位置付ける。若い担い手の育成については清流の里が母体となり地域農業の仕組みや農作物の栽培方法、販路拡大手法などを伝授するなど後方支援を行う。
 農地の利用方法を再度検討し、農作業受委託やアルバイト、作業共同協力も検討する。

2 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用に関する目標

(1) 農用地の効率的かつ総合的な利用に関する方針			
圃場整備が完了しているものの、宅地、山林、ため池周辺の小区画不整形農地で果樹等の栽培や産直用の少量作物を栽培する。優良田は個別に継続していく。			
(2) 担い手(効率的かつ安定的な経営を営む者)に対する農用地の集積に関する目標			
現状の集積率	23.5 %	将来の目標とする集積率	43.7 %
(3) 農用地の集団化(集約化)に関する目標			
現状も耕作者による集団化が進んでいることから現状のとおり進めていく。			

3 農業者及び区域内の関係者が2の目標を達成するためとすべき必要な措置

(1) 農用地の集積、集団化の取組
10年後を目標に水稲と露地野菜の機械共同化を進め、それぞれの能力に応じた協力体制の検討を進めるとともに、ブルーベリー等の軽量で特産品作物の小面積圃場への推進も図る。中山間地で大きな畦畔面積が草刈作業等の余分な仕事になるので良い管理方法を検討する。
(2) 農地中間管理機構の活用方法
法改正に伴い、利用権設定の期間満了となった農地から農地中間管理機構を使って農地の賃貸借を進めていく。
(3) 基盤整備事業への取組
集落内の農地の大半は、基盤整備が完了している。
(4) 多様な経営体の確保・育成の取組
当地域では兼業農家が多く、今後とも地域の農地集落共同作業を行うため、できるだけ多くの農業者を確保に努める。吉備国際大学生とのつながりがあることから、農作業や獣害対策について学生のアルバイトなどを引き続き募集する。若い担い手の育成については地域の団体「清流の里」が担当する。
(5) 農業協同組合等の農業支援サービス事業体等への農作業委託の取組
他集落と隣接していないので、規模拡大が難しく集落内で中山間交付金等を利用して農機の導入を検討していく。

以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組内容を記載してください)

<input checked="" type="checkbox"/> ①鳥獣被害防止対策	<input checked="" type="checkbox"/> ②有機・減農薬・減肥料	<input checked="" type="checkbox"/> ③スマート農業	<input type="checkbox"/> ④畑地化・輸出等	<input checked="" type="checkbox"/> ⑤果樹等
<input type="checkbox"/> ⑥燃料・資源作物等	<input type="checkbox"/> ⑦保全・管理等	<input checked="" type="checkbox"/> ⑧農業用施設	<input checked="" type="checkbox"/> ⑨耕畜連携	<input type="checkbox"/> ⑩その他
【選択した上記の取組内容】				
①中山間役員を中心に色々な補助金等を活用して、集落全戸が協力して獣害防止柵の設置についてはほぼ完成している。防止柵維持の点検・修理は、大雨の後など年複数回実施している。バッファゾーン事業において里山の鳥獣害防止柵周辺の伐採を進めていく。				
②⑨畜産農家と協力し堆肥の利用を進め、飼料作物についてはWCS用稲の推進を図っていく。				
③ドローンによる水稲作の防除を進める。又、農業経営の省力化に寄与するスマート農機の導入も検討する。				
⑤ブルーベリー等の果樹栽培にも取り組み、重量野菜栽培できない高齢者等の生きがいづくりを推進する。				
⑧農業機械の共同化等を進めているが、機械が大型化に伴い保管場所として、集落内の空き倉庫等の賃貸借と改修を検討する。				

4 地域内の農業を担う者一覧(目標地図に位置付ける者)

属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度:令和16年度)				
		経営作目等	経営面積	作業受託面積	経営作目等	経営面積	作業受託面積	目標地図上の表示	備考
1	利用者	水稲、野菜、果樹等	0.53 ha	ha	水稲、野菜、果樹等	0.53 ha	ha	1	
2	利用者	水稲、野菜、果樹等	1.10 ha	ha	水稲、野菜、果樹等	1.10 ha	ha	2	
3	利用者	水稲、露地野菜	1.16 ha	ha	水稲、露地野菜	3.95 ha	ha	3	
4	利用者	保全管理	0.11 ha	ha	離農	0.00 ha	ha	4	
5	利用者	保全管理	0.46 ha	ha	離農	0.00 ha	ha	6	
6	利用者	保全管理	1.47 ha	ha	離農	0.00 ha	ha	7	
7	利用者	保全管理	0.57 ha	ha	離農	0.00 ha	ha	8	
8	利用者	保全管理	0.77 ha	ha	離農	0.00 ha	ha	9	
9	利用者	保全管理	0.22 ha	ha	離農	0.00 ha	ha	10	
10	利用者	保全管理	0.56 ha	ha	保全管理	0.09 ha	ha	11	
11	利用者	水稲、野菜、果樹等	1.19 ha	ha	水稲、野菜、果樹等	1.19 ha	ha	12	
12	利用者	酪農	0.00 ha	ha	水稲、野菜、酪農	1.05 ha	ha	14	
13	利用者	水稲、露地野菜等	1.38 ha	ha	経営継承	0.00 ha	ha	15	16・親子間
14	利用者	-	0.00 ha	ha	水稲、露地野菜	1.38 ha	ha	16	
15	利用者	水稲、野菜、果樹等	1.84 ha	ha	経営継承	0.00 ha	ha	17	18・親子間
16	利用者	-	0.00 ha	ha	水稲、野菜、果樹等	2.18 ha	ha	18	
17	利用者	-	0.00 ha	ha	野菜	0.39 ha	ha	19	
18	利用者	保全管理	0.44 ha	ha	離農	0.00 ha	ha	20	
19	利用者	水稲、露地野菜等	1.58 ha	ha	経営継承	0.00 ha	ha	21	22・親子間
20	利用者	-	0.00 ha	ha	水稲、露地野菜等	1.58 ha	ha	22	
21	利用者	ハウストマト	0.37 ha	ha	ハウストマト	0.37 ha	ha	23	
22	利用者	保全管理	0.18 ha	ha	離農	0.00 ha	ha	24	
23	利用者	水稲、露地野菜等	1.18 ha	ha	水稲、露地野菜等	1.62 ha	ha	25	
24	利用者	水稲、野菜、和牛	0.28 ha	ha	水稲、野菜、和牛	0.45 ha	ha	26	
25	利用者	ハウストマト	0.75 ha	ha	経営継承	0.00 ha	ha	27	28・親子間
26	利用者	-	0.00 ha	ha	ハウストマト	0.38 ha	ha	28	
27	利用者	水稲、野菜、果樹等	1.01 ha	ha	水稲、野菜、果樹等	1.01 ha	ha	29	
28	利用者	水稲、野菜、果樹等	0.72 ha	ha	水稲、野菜、果樹等	2.02 ha	ha	30	
29	利用者	保全管理	0.34 ha	ha	離農	0.00 ha	ha	31	
30	利用者	水稲、露地野菜等	1.09 ha	ha	水稲、露地野菜等	1.09 ha	ha	32	
31	利用者	水稲、野菜、果樹等	0.92 ha	ha	水稲、野菜、果樹等	0.92 ha	ha	33	
32	利用者	保全管理	0.39 ha	ha	保全管理	0.39 ha	ha	34	
33	利用者	水稲、露地野菜等	0.67 ha	ha	水稲、露地野菜等	0.67 ha	ha	35	
34	利用者	保全管理	0.45 ha	ha	離農	0.00 ha	ha	36	
35	利用者	水稲、露地野菜等	0.90 ha	ha	水稲、露地野菜等	1.83 ha	ha	37	
36	利用者	保全管理	0.11 ha	ha	保全管理	0.11 ha	ha	38	
37	利用者	保全管理	0.06 ha	ha	保全管理	0.06 ha	ha	39	
38	利用者	保全管理	0.00 ha	0.38 ha	保全管理	0.00 ha	0.38 ha	40	
39	利用者	水稲、野菜	1.05 ha	ha	離農	0.00 ha	ha	41	
40	利用者	保全管理	0.51 ha	ha	離農	0.00 ha	ha	42	
計	40経営体		24.36 ha	0.38 ha		24.36 ha	0.38 ha		